



### ◆ 麻しん・風しんの 予防接種について

今年4月と6月の法律改正により、定期の麻しん・風しんの予防接種が次のとおり変わりました。

＜対象者＞

【第1期】 生後12月から生後24月  
に至るまでの間にある児

【第2期】 5歳以上7歳未満の児  
で、小学校就学前の1年間に  
該当する児

◆ 改正の概要は次のとおりです。

● 第1期・第2期の定期の予防  
接種は、麻しん風しん混合ワ  
クチンでの接種を基本とします。

### 連絡先

各種健康診断や食に関する相談、健康  
に関することお気軽にお電話ください。

- ・マキノ健康福祉センター 電話(27)1128
- ・今津保健センター 電話(22)5101
- ・朽木保健センター 電話(38)3111
- ・安曇川保健センター 電話(32)4413
- ・高島保健センター 電話(36)8008
- ・新旭保健センター 電話(25)8110  
(健康推進課)

(場合によっては、麻しんおよ  
び風しんの単抗原ワクチンの  
接種も可能です。)

● 今までの麻しん・風しん単抗  
原ワクチンを接種された方も、  
第2期の対象年齢になれば、  
混合ワクチンの予防接種を受  
けていただくこととなります。  
第2期における予防接種は、  
第1期の予防接種後の免疫の  
強化をはかるために接種します。  
明らかに麻しんまたは風しん  
にかかった児については、か  
かっていないもう一方の単抗  
原ワクチンを、接種できるよ  
うになりました。

今回の改正では、接種者の利  
便性や経済性、体への負担軽減

・食品の保存は、素早く冷える  
よう、清潔な浅い容器を用いる。  
また、下痢などの胃腸症状が  
出たときは、安易に下痢止め等  
の薬を使わず(症状を悪化させたり、  
治療の妨げになることがある  
ため)、速やかに医療機関に受  
診しましょう。

### 老人性認知症 相談のご案内



高島保健所では老人性認知症  
などに関する相談を行っています。  
本人やご家族などから「認知  
症かどうかわからない」「接し方  
や介護に困っている」「受診した  
いが、どうしたらよいか」等  
のご相談を専門医がお受けします。  
老人性認知症について詳しく知  
りたい方なども、お気軽にお問  
い合わせください。相談は無料で、  
相談内容の秘密は厳守します。

申 高島保健所  
保健福祉課地域保健福祉担当  
電話(22)24199



滋賀県献血キャラクター  
「ちーたん」

### 7月は 献血推進月間です！

血液は栄養や酸素の運搬、免  
疫など非常に重要な役割をもち、  
人間の生命を維持するために欠  
くことのできない成分です。現  
代の医療現場では血液製剤によ  
る輸血が欠かせません。しかし、  
科学が進歩した現在でも、人工  
的に血液を造ることはまだでき  
ません。また、血液は長い期間  
にわたって保存することもでき  
ません。輸血に必要な新鮮な血  
液をいつでも十分に確保してお  
くために、献血への協力をお願  
いします。

年間を通し血液の需要はほぼ  
一定であるのに対し、献血者数  
には変動があります。夏は暑さ  
により体調を崩される方が多く、  
輸血用血液保有量が低下します。  
そんな夏だからこそ献血推進月間！  
市内では4ヶ所で献血が実施さ  
れますので、ぜひ採血にご協力  
ください！

### ◆ 献血 持ち物・・・献血手帳、本人確認ができるもの(運転免許証、健康保険証など)

行事名	日	曜日	受付時間	会場	備考
成分/全血献血	4	火	10:00~15:00	今津保健センター	18歳以上 ※成分献血は 事前申し込みが 必要です。
全血献血	16	日	10:00~15:00	平和堂安曇川店	
成分献血	26	水	10:00~14:00	高島保健センター	
成分献血	31	月	10:00~14:00	安曇川保健センター	

※65歳以上の方の献血については、60~64歳の間に献血経験がある方が対象となります。 ※渡航歴により献血できない場合があります。  
※40歳以上の方の成分献血については、成分献血経験があり、一年以内に心電図検査を受けている方が対象となります。

### ◆ 今月のがん検診

日程をご確認の上、ご希望の会場所在地の保健センターに予約してください。予約いただいた方には、  
受付時間等を記載した受診票をお送りします。受診時には、受診票をお持ちください。

検診名	日	曜日	会場	対象者	自己負担金
胃がん検診	4	火	黒谷分館・鴨老人憩の家(高島)	昭和42年3月31日以前に生まれた方	500円
	6	木	武曾老人憩の家(高島)		
	9	日	高島保健センター		
	12	水	藁園静里会館・太田会館(新旭)		
	13	木	朽木保健センター		
乳がん検診 マンモグラフィ および触診	6	木	新旭保健センター	昭和42年3月31日以前に生まれた女性	乳がん 1,000円
	11	火	高島保健センター		
	12	水	世代交流センター(安曇川)		
子宮頸部がん検診	18	火	今津保健センター	子宮がん 1,000円	
	19	水	安曇川保健センター		
	20	木	マキノ健康福祉センター		

各種検診や乳幼児健診、健康相談等の詳細は、4月中旬にお配りしています「たかしま健康だより」(保存版)でご確認ください。

### 『食中毒』に ご注意ください



梅雨に入り蒸し暑い日が増え、  
食中毒が心配な季節になってき  
ました。

平成17年度は、滋賀県で、8  
件の食中毒発生の報告があり、  
患者数が1,302人もあったと  
報告されています。この数字は、  
食品衛生法に基づいて届け出さ  
れた件数であり、実際には、こ  
れよりはるかに多い件数の食中  
毒が発生していたと思われる。  
食中毒の原因は、細菌による  
ものが圧倒的に多く、人・動物

等を考慮して、麻しん風しん混  
合ワクチンの接種を勧奨してい  
ます。このことにより、接種率  
の向上がはかれ、疾病の発生や  
まん延を予防することになります。  
今年度の第2期対象となる小  
学校就学前の方(平成12年4月  
2日~13年4月1日生まれ)には、  
すでに混合ワクチンの予防票を  
お渡ししています。体調のよい  
ときに受けるようにしてください。  
なお、来年度以降に第2期の  
対象となる方についても、順次  
予防票を送付します。

の皮膚、し尿、便、土壌、海水  
など私たちの身近なところに存  
在しています。そのため、ちょ  
っと油断すると、食物が汚染さ  
れ食中毒にかかってしまう可能  
性があります。食中毒は、大人  
では、軽い下痢などですむよう  
なものでも、抵抗力の弱い乳幼  
児や高齢者には、致命的な症状  
になることがあるので特に注意  
が必要です。  
食中毒を予防するためには、  
細菌を「つけない・増やさない・  
やっつける」ことが大切です。  
次のことに気をつけて、食中  
毒を予防しましょう。  
・新鮮なものを購入し、肉・魚  
は他の食品を汚染しないよう  
包装する。  
・購入したものは、帰宅後すぐ  
に冷蔵庫や冷凍庫に入れ、庫  
内の温度を5℃以下に保つ。  
・生肉や魚などを扱った後は、  
手洗いや、調理器具の洗浄・  
熱湯消毒を行う。  
・冷凍食品は、冷蔵庫または電  
子レンジを用いて解凍し、再  
冷凍しない。  
・食品の加熱は、中心部を75℃、  
1分以上行う。  
・調理後は、早めに食べ、常温  
で長時間放置しない。